CySecPRO

2019 年度

「CySec 実務者コース」

募集要項

一般社団法人　サイバーセキュリティ プロフェッショナルズ プロデュース

CySecPRO

2019 年度
「CySec 実務者コース」募集要項

一般社団法人サイバーセキュリティ プロフェッショナルズ プロデュース（以下、CySec PRO）は東京電機大学サイバーセキュリティ研究所の後援をうけ、「CySec 実務者コース」を 2018 年 6 月より開講しています。

1．教育目的

社会全体でIoT化が進展する中、サイバーセキュリティの確保は社会基盤の安定に不可欠なものとなってきています。他方、サイバー攻撃の進化と多様化はすさまじく、これまでのようにITシステムによる水際での防御は不可能な事態となっています。さらに2020東京オリンピック・パラリンピック開催を控えている我が国では、サイバー攻撃が急速に高まることは不可避の状況です。

しかしながら、我が国ではサイバーセキュリティの専門家は質・量ともに大幅に不足しており、その育成が喫緊の課題であることは、広く認識されています。

東京電機大学では、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」（CySec）を2015年度に開設するなど、即戦力となるサイバーセキュリティ人材を供給してこられました。

本プログラムは、CySecと補完関係にある教育プログラムで、それぞれの組織でリーダーをサポートする分野ごとの専門家を早期に養成することを目的としています。

2．教育課程

本プログラムは、一般的な水準にある実務者を約4か月間で各分野の専門家に育成することを目指します。各コースの講師には、第一線で活躍している専門家を招聘し、実例に基づくワークショップを主とした実践的な教育を少数精鋭で実施します。

3．受講証明書

プログラム修了者には、CySecPRO 発行の「受講証明書」を授与します。

4．募集人員

◇ 脆弱性診断士育成コース　　18 名
◇ インシデントハンドラー育成コース　　18 名
◇ フォレンジックアナリスト育成コース　　18 名
◇ スレットハンター育成コース　　18 名
◇ サイバーリスクアドバイザー育成　基礎コース　18名

※ 但し、各コース受講者が 5 名以下の場合は、その回の開講を見送る場合があります。

CySecPRO

5. 講座実施場所

東京電機大学　東京千住キャンパス 5 号館 12F 1207 B 教室

6. 開講期間・開講日時

◇ 脆弱性診断士育成コース

2019年8月29日（木）～2019年12月12日（木）※予備日を含む

18:30-21:45（休憩15分）

90分×2コマ／日×15日

◇ インシデントハンドラー育成コース

本年度分は計画中

◇ インシデントレスポンダー育成コース（旧、フォレンジックアナリスト育成コース）

本年度分は計画中

◇ スレットハンター育成コース

2019年3月 5日(火)～6月11日(火)

18:30-21:45（休憩15分）

90 分×2 コマ／日×14 日

◇ サイバーリスクアドバイザー育成 基礎コース

2019 年 8 月 21 日（水）～9 月 18 日（水）

18:30-21:45（休憩 15 分）

90 分×2 コマ／日×5 日

※ 各コースのシラバスについては Web ページをご確認ください。

https://cysec-pro.org/course/syllabus/

【お願い事項】

受講際しては、各自ノートPCを持参いただきます。

スペック等については、以下の項目「8.」をご確認ください。

7. 受講料

◇ 脆弱性診断士育成コース

◇ インシデントハンドラー育成コース

◇ フォレンジックアナリスト育成コース

◇ スレットハンター育成コース

各コース 90 万円（税別、一括払い）

※ 5 名以上での申し込みの場合は、1 名当たり 60 万円（税別）とします。

※「国際化サイバーセキュリティ学特別コース（CySec）」の修了生および受講生は 60 万円（税別）とします。

※ この他に教科書等の購入費がかかる場合があります。

◇ サイバーリスクアドバイザー育成　基礎コース　18名

45 万円（税別、一括払い）

※ 5 名以上での申し込みの場合は、1 名当たり 35 万円（税別）とします。

※「国際化サイバーセキュリティ学特別コース（CySec）」の修了生および受講生は 35 万円（税別）とします。

※ この他に教科書等の購入費がかかる場合があります。

8. 受講資格/前提知識/PC スペック

本プログラムは、短期間でサイバーセキュリティの専門家養成を目指すため、基本的な情報セキュリティの知識および技能を有する方を対象にしています。

応募に際しては、以下の前提となる知識をご確認ください。

◇ 脆弱性診断士育成コース

前提知識 等
●標準的なプロトコル（TCP/IP）に関する知識：IP、TCP、UDP、TLS、DNS、SMTP、POP、IMAP、ドメイン、ルーティングなど
●一般的なセキュリティ技術に関する知識：共通鍵暗号、公開鍵暗号、暗号学的ハッシュ、PKI、ファイアウォール、IDS、認証、ワンタイムトークン、機密性、完全性、可用性など
●プログラミング言語に関する知識：JavaSript、HTML、SQL、PHP、Java、Ruby、NET、Python、

Perlなど
●Webサーバの構築・運用に関する知識：Apache、nginx、Tomcat、キャッシュ、ドキュメントルート CGI、アクセスログ、その他各種設定など
●Windows、 Linuxの基本的な操作
本コースに持参するPCスペック
●基本ソフトウェア／Windows7(すべての Edition)、または Windows8(RT 以外の Edition) または Windows10（全ての Edition） ※管理者権限で任意の設定変更やソフトウェアのインストールができること
●応用ソフトウェア／ウイルス対策が施されていること、Microsoft Word、Excel、 PowerPoint 形式のデータの閲覧、編集が可能であること。PDF 形式のデータの閲覧が可能であること
●LANインタフェース／有線 LAN(100Base-TX)、USBアダプタ等による対応も可
●CPU／クロック周波数 1.6GHz 以上のデュアルコア以上を推奨。Intel Virtualization Technology に対応していること ●USB ポート／A タイプのインタフェースが使用可能であること。 ＊USB メモリによる資料配付を行う場合があります
●メモリ／8-16GB 以上を推奨
●画面の解像度／1280×768 ピクセル以上を推奨
●使用するソフトウェア／Microsoft Officeまたは互換製品（データの配布や提出物の作成） VirtualBox（演習用仮想計算機の実行）、Java実行環境(Version 8) ※Macintoshの使用は可としますが、演習実施のためWindowsの実行環境をご用意頂く場合があります

◇ インシデントハンドラー育成コース

前提知識 等
本講義と演習はシナリオに基づいたインシデントハンドリングの動き方に主眼をおいており、ハードニング（堅牢性を保つ実地演習）やレッドチームを利用した実際の攻撃に対する実機を使った防衛の演習ではありません。 したがって、どのようなセキュリティ機器や防衛装置がどのような意味合いで設置されているのかについての理解は望ましいですが、PCやOSに関する深い知識は不要です。またシステム障害対応を行なった経験があることは望ましいですが、必須ではありません。
本コースに持参するPCスペック
●基本ソフトウェア／Windows7(すべてのEdition)、またはWindows8(RT以外のEdition) またはWindows8.1(RT 以外の Edition)、またはWindows10（全てのEdition）、macOS(及びOS X)

●応用ソフトウェア／ウイルス対策が施されていること。Microsoft Word、Excel、PowerPoint形式のデータの閲覧、編集が可能であること。PDF形式のデータの閲覧が可能であること。
●LANインタフェース／有線 LAN(100Base-TX)、USBアダプタ等による対応も可
●CPU／クロック周波数 1.6GHz 以上のデュアルコア以上を推奨、Intel Virtualization Technologyに対応していること
●USBポート／Aタイプのインタフェースが使用可能であること、USBメモリによる資料配付を行う場合があります
●メモリ／4GB以上を推奨
●画面の解像度／1280×768 ピクセル以上を推奨
●使用するソフトウェア／Microsoft Officeまたは互換製品（データの配布や提出物の作成）

◇ インシデントレスポンダー育成コース

前提知識　等
「基本情報技術者試験」程度のITに関する基本知識を保有していることが望ましいですが、フォレンジックアナリストになりたいという強い意志があれば前提知識は問いません
本コースに持参する PC スペック
●基本ソフトウェア／Windows7(すべてのEdition)、またはWindows8(RT以外のEdition)またはWindows8.1(RT 以外の Edition)、またはWindows10（全てのEdition） ※管理者権限で任意の設定変更やソフトウェアのインストールができること
● 応用ソフトウェア／ウイルス対策が施されていること。Microsoft Word、Excel、PowerPoint形式のデータの閲覧、編集が可能であること。PDF形式のデータの閲覧が可能であること。
●LAN インタフェース／有線 LAN(100Base-TX)、USB アダプタ等による対応も可
●CPU／クロック周波数 1.6GHz 以上のデュアルコア以上を推奨、Intel Virtualization Technologyに対応していること
●USBポート／Aタイプのインタフェースが使用可能であること、USBメモリによる資料配付を行う場合があります。
●メモリ／8-16GB以上を推奨
●画面の解像度／1280×768 ピクセル以上を推奨
●使用するソフトウェア／Microsoft Officeまたは互換製品（データの配布や提出物の作成）、VirtualBox（演習用仮想計算機の実行） ※ Macintoshの使用は可としますが、演習実施のためWindowsの実行環境をご用意頂く場合があります

●その他／200GB程度のデータを格納できる外付けHDDを持参してください(もしくはPCのローカルディスクの空き容量が200GB程度あること)。また、上記200GBとは別ローカルディスクの空き容量を100GB程度確保してください。

◇ スレットハンター育成コース

前提知識　等
本講義と演習はサイバー攻撃に対する検知・対応に主眼をおいて、様々なソフトウェアや機器　等が生成するログを活用できるようになることを目的としています。講義を受講するにあたり　以下の前提知識があるものと想定します。
●WindowsまたはMacOSの基本的な操作
●上記 OS および Linux コマンドライン操作、スクリプトやクエリのテキストエディタを用いた編集
●典型的なサイバー攻撃、マルウェアアクティビティに関する基礎知識
●標準的なプロトコル(TCP/IP)に関する知識:IP アドレス、ネームサービス(DNS)、HTTP プロトコルなど
●ネットワークで相互接続されたシステム間(例えばクライアント・サーバー間)の通信やデータ処理フローの概念に関する知識
●仮想マシン(Virtual Box)の導入・基本操作
●OSS パッケージの導入・設定経験(推奨・ハンズオンで経験します)
本コースに持参する PC スペック
●基本ソフトウェア ○ Windows8.1 or 10 ○ MacOSX 10.11, 10.12, or 10.13 ※いずれも管理権限がありソフトウェアのインストールが可能な状態であること
●Microsoft Office形式のデータの閲覧が可能であること
●PDF 形式のデータの閲覧が可能であること
●Wifi 接続が可能なネットワークインターフェース、インターネット接続が可能であること
●CPU/クロック周波数:6コア2GHz以上を推奨(4コア、8スレッドでも問題ありません)
●メモリ:12GB以上を推奨
●ハードディスク:40GB以上の空き容量
●画面解像度:1280 x 768ピクセル以上を推奨
●仮想OSの動作をサポートしていること
講義までに行なって欲しいPCの準備
●演習に利用するPCにVirtualBox5.2.22を導入してください
●別途お伝えするサイトから VMImage をダウンロードし、上記の VirtualBox に読み込ませ LinuxOS

を起動しログインできるようにしてください

◇ サイバーリスクアドバイザー育成　基礎コース

前提知識　等
●情報セキュリティに関する基本的な考え方を理解し、経営および事業戦略に必要となる情報セキュリティについて興味・関心があること。 情報セキュリティポリシーやプライバシーポリシーを公表されている企業にお勤めの方や、JIS Q 27001:2014 及び JIS Q 15001:2017 等に関係する業務を担当されている方が望ましい。
本コースに持参する PC スペック
●使用するソフトウェア／Microsoft Office（Word、Excel 等）または互換製品
●OS の種類および PC スペックは不問

9. エントリー

出願に先立ち「電子メールによるエントリー」が必要です。

エントリー時に、以下のテーマでレポート（エントリーレポート）を作成し、電子メールで提出してください。

エントリーレポート用紙の入手方法については、以下の【エントリー方法】をご参照ください。

【レポートのテーマ】

◇ 脆弱性診断士育成コース

不要　＊面談当日に実技テスト（筆記問題を含み10分程度）を実施

◇ サイバーリスクアドバイザー育成　基礎コース／ポリシー策定編

「取引先に情報セキュリティ対策を要求する際、どのような表現を用いて伝達しているか。

またチェックシート等を活用する場合は、どのような基準を採用して構成しているか」

【受付期間】 ※現時点で受け付けているコースのみ記載しています

◇ 脆弱性診断士育成コース

2019 年 5 月 24 日（金）～7 月 26 日（金）

◇ サイバーリスクアドバイザー育成　基礎コース

2019 年 5 月 24 日（金）～7 月 26 日（金）

【エントリー方法】

- メールの件名は「CySec 実務者コース 2019 年度前期エントリー」としてください。
- メール本文に、氏名および所属を記載してください。
- エントリーレポート用紙は CySec 実務者コースの Web ページからダウンロードして下さい。

エントリー受付専用メールアドレス
entry@cysec-pro.org
エントリーレポート用紙
https://cysec-pro.org/course/requirement/

※エントリーを確認でき次第「受付完了メール」をお送りします。
エントリー受付期間を過ぎてもメールが届かない場合は、メールでお問い合わせください。
CySecPRO 事務局： info@cysec-pro.org

10. 出願手続きおよび期限

「受付完了メール」を受信された方は、受付期間内に以下の出願手続 を行ってください。

【出願期限】

◇脆弱性診断士育成コース
7 月 26 日（木）必着
◇サイバーリスクアドバイザー育成　基礎コース
7 月 26 日（木）必着

【出願書類】

■「CySec 実務者コース」願書（市販の履歴書で可）
・写真 1 枚
（45×35mm、カラー、脱帽上半身、背景なし、最近 3 ヶ月以内撮影、所定欄に貼付）

【注意事項】

- 出願は、郵送での受付となります。持参による提出はできません。
- 出願者は、出願書類を、角形第 2 号封筒（240×332mm）に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。（持参による提出は不可）
- 郵送の際は、封筒の表面に出願書類在中と朱記してください。また封筒の裏面に出願者の

住所、氏名を記載して下さい。

- 郵送された願書等は返却いたしません。
- 教育目的に基づき、反社会勢力に該当・関係する方の受講はお断りいたします。

出願に必要となる【出願書類】を、次の宛先に郵送してください。

【送付先】
〒120-8551
東京都足立区千住旭町 5 番
東京電機大学　5 号館　サイバーセキュリティ研究所内
「CySec 実務者コース」事務局　行

11. 受講資格審査について

面接による受講資格審査を行います。受講資格審査に費用はかかりません。

【審査日時】 ：◇ 脆弱性診断士育成コース
2019 年 8 月 2 日（金）18:30～21:30
実技試験（10 分程度）の後、合格者のみ面談を実施いたします。
※課題サーバに SSH でログインしていただきますので、"有線 LAN"に接続し
SSH サーバに接続できるノート PC 等を持参してください(無線 LAN は不可)。
LAN ケーブルはこちらで用意しています。
また筆記問題もありますので、筆記用具を持参してください。

◇ サイバーリスクアドバイザー育成 基礎コース
2019 年 8 月 2 日（金）18:30～21:30

【審査場所】 ： 東京電機大学 5 号館 12 階
東京都足立区千住旭町 5 番
最寄駅： 北千住駅東口（電大口）から徒歩 1 分
（JR 常磐線・東京メトロ日比谷線・東京メトロ千代田線、東京スカイツリーライン・つくばエクスプレス）

※ 詳細日時については、願書受領後に電子メールでご連絡いたします。
※ 全員の面接を上記時間内に行います。なお、面接は出願順となります。
※ 別日への変更はできません。

12. 受講資格審査の結果通知

受講資格審査結果は以下の通知日に電子メールにて通知いたします。

【通知予定日】 ：

◇ 脆弱性診断士育成コース

2019 年 8 月 9 日（金）迄

◇ サイバーリスクアドバイザー育成コース

2019 年 8 月 9 日（金）迄

※ 通知日の期間に通知が届かない場合は、以下のアドレスにお問い合わせください。
メールの件名を「CySec 合否通知不着」として、メール本文に氏名・電話番号・受験番号を記入してください。

CySecPRO 事務局 info@cysec-pro.prg

13. 受講手続き等

受講資格審査合格者へは、合格通知とともに次の書類を送付いたします。所定の期間内に、受講費の振込および書類の郵送手続きを行ってください。詳細については、受講資格審査結果通知時に、改めてお知らせいたします。

【事務局から届く書類】

- 受講資格審査結果通知
- 受講手続き等について
- 受講申込書

【受講料振込先】

- 銀行名： 三井住友銀行(0009)
- 支店名： 神田支店(219)
- 種別： 普通預金
- 口座番号： 3207689
- 名義：一般社団法人 サイバーセキュリティ・プロフェッショナルズ・プロデュース
- 振込金額：上記項目「7. 受講料」の通り

※　振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

※　一度振り込まれた受講費等はいかなる理由があっても返金致しかねます。

【郵送いただく書類】

① 受講申込書

② 受講料振込控えのコピー

※ネットバンキングで手続きした場合は振込完了画面のハードコピー等

【手続締切日】

◇ 脆弱性診断士 育成コース

2019 年 8 月 23 日（金）

. ◇ サイバーリスクアドバイザー育成コース

2019 年 8 月 16 日（金）

※書類必着・費用振込は当日付け有効

【お問い合わせ先】

お問い合わせは、下記メールアドレスにお願いします。

CySecPRO 事務局　：　info@cysec-pro.org

※ 上記項目 9. エントリーは、下記メールアドレスにお願いします。

entry@cyec-pro.org

【個人情報の取扱い】

出願および受講手続き等を通じて入手した個人情報につきましては、弊社団「個人情報保護方針」に則り、適切に取り扱います。

取得した個人情報は、受講資格審査、受講の連絡・案内、資料送付など、「CySec 実務者コース」の事業運営に関わる用途においてのみ使用し、それ以外の目的には一切使用しません。